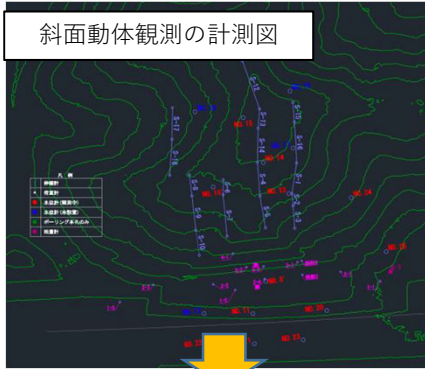


## CASE 18

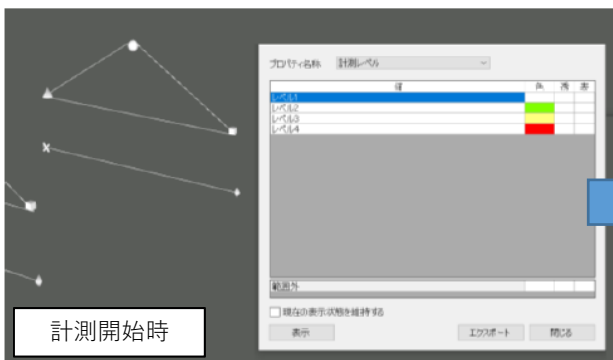
## 計測工に対する出来形管理【トンネル】

### 実施内容

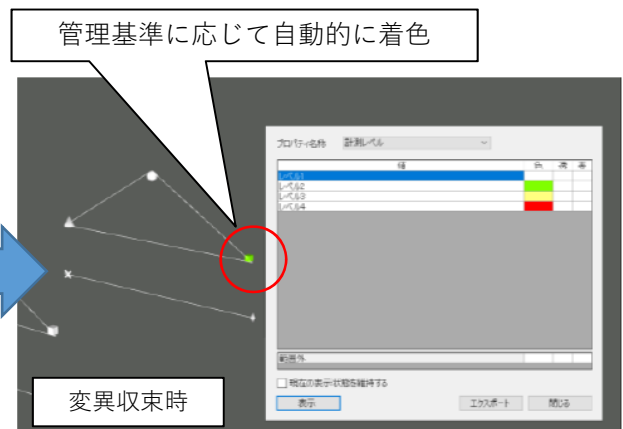
- 計画工に対する出来形管理を行うため、A計測（日常管理のための計測）、B計測（特定の箇所の計測）、斜面動態観測の計測結果をBIM/CIMモデルに反映した。



- A計測等の計測結果をcsvファイルに書き出し、BIM/CIMモデルが一定の時間ごとにcsvファイルを読み込むようにソフトウェア上で設定。
- 更新した結果計測値が計画書で定められた管理基準値を超えた場合、モデル内に表示され、問題を即時に確認できるように設定。



管理基準レベル 1



管理基準レベル 2

A計測結果モデル

### 効果

- BIM/CIMモデルを活用することで計測管理における異常を早急に把握することができた。
- 問題発生箇所など、同一箇所の過去データを容易に確認することができる。緊急時の打合せや協議における資料として迅速な合意形成に大きな効果がある。

### 事業情報

事業名	鳥取西道路重山トンネル工事
発注者	中国地方整備局 鳥取河川国道事務所
受注者	日本国土開発株式会社
工種	トンネル
使用ソフトウェア	Civil3D（サーフェス作成、3次元ソリッドモデル作成） Navisworks Manage（3次元統合モデル作成、時系列情報付与）
モデル詳細度	300～400：トンネル工、坑口工